

平成 xx 年 xx 月 xx 日
タケダ化成株式会社

イノバックス導電粉体塗料の優位性について

1.環境に優しい 粉体塗装は有機溶剤を全く使用しない粉体塗料を使用する、環境に優しい塗装です。
現在のVOC規制等の公害を発生させない塗装方法です。
ISO14000を取得されている企業には、環境対応型塗装としてPR効果があります。

2.高塗膜機能性

(1) 防食性 : 溶剤型塗料の平均膜厚 (20 μ ~ 40 μ) と比較して粉体塗料の平均膜厚は 50 μ ~ 80 μ と厚膜の為、防食性能が優れています。
塩水噴霧試験で 240h 後の剥がれ巾も 0mm と高耐食性です。

(2) 耐摩耗性 : 溶剤型塗膜と比較して、耐摩耗性試験 (CS-17、1000g、1000 回) 溶剤型塗料 136mg に対して 粉体塗料 26g と高耐摩耗性です。
表面硬度は H (鉛筆硬度試験) で耐スリキズ性にも優れています。

(3) アウトガス : 粉体塗膜からのアウトガスは検出されません。
加熱発生ガス (ガスクロマトグラフ、GC-MS 測定)
浸漬・溶出イオン成分 (イオンクロマトグラフィー測定)
浸漬・溶出金属成分 (誘導結合プラズマ質量分 (ICP-MS 測定))

(4) 耐薬品性 : イノバックス導電粉体塗料はハイブリッド型樹脂 (エポキシ・ポリエステル樹脂) を使用しているため、通常のエポキシタイプの溶剤型塗料と比較して、耐薬品性に優れています。
35% 塩酸、50% 硫酸、50% 硝酸、50% 磷酸、30% 過酸化水素、50% フッ酸、30% 苛性ソーダ、30% 苛性カリの薬品滴下に合格。
(変色及びフクレ試験で異常なし)
この結果は、溶剤型塗料と比較して高い耐薬品性を示します。

又、耐溶剤性にも優れています。
99% エタノール、99% IPA、99% キシロール、97% MEK 溶剤滴下試験 (スポット、20 ~ 3 時間) にも合格します。

(5) 安定導電性 : 溶剤型塗膜の導電性と比較して、広範囲の膜厚 (40 μ ~ 80 μ) で 10⁴ Ω ~ 10⁵ Ω と安定した塗膜抵抗値で帯電を防止します。
又、特殊に処理された導電顔料 (金属酸化物を被覆) を使用している為、温度、湿度による抵抗値の変化はありません。

(6) 美肌性 : 溶剤型塗膜と比較して厚膜のため、アルミダイキャスト素材表面の荒れた肌を覆うことが出来ます。
特に模様粉体塗料は素材の凹凸をかば - して美肌効果は最高です。
美肌効果で、ダイキャストの表面加工工程を短縮する事が出来ます。

(7) 隠蔽性 : 粉体塗料は隠ぺい力が高い為、ロット差 (膜厚の差) による色調の変化が極めて少ない為、広いフロアーに複数のロットで納入されても、均一な肌と色調で。

3.高耐食、高密着処理 弊社の導電粉体塗装仕様は、下地処理にアルミ素材としては最高の**クロム酸処理**をすることで、更に高耐食、高密着性を高めております。